

クリアオーディオ
Concerto V2
¥295,000

●発電方式:MC型 ●出力電圧:0.7mV
(5cm/sec. 1kHz) ●インピーダンス:30Ω ●適正針圧:2.8g ●自重:7g
●問合せ先:ヨシノトレーディング株式会社
050(3375)3975



音楽の「熱と力」を表現する、彫琢に優れたサウンド
左右完全対称に設計されたドイツ・クリアオーディオの高級MCカートリッジ

山本浩司

クリアオーディオ(ドイツ)から登場したMC型カートリッジの高級モデル。まず目を引くのが、美しいサテンウッドのボディだが、興味深いのは「12フィンガー」と呼ばれる12本のツノを持つたヒトデ形状のマテリアルが配されていることだ。よく見ると、12本それぞれツノのヤマとタニの曲率が微妙に異なっているのがわかる。この工夫によってレゾナンスを最適化し、ボディの共振を抑えているのだらう。発電機構を機械的、磁界的、電氣的に左右完全対称に設計するというのが同社のポリシー。本機には合計8個のネオジウムマグネットと24カラットのゴールドワイヤー・コイルが発電機構に採用されている。また、スタイラスチップは従来モデルの5分の1まで軽量化されたという。カンチレバーはひじょうに長く、取り扱いは注意が必要だ。

リンのソノデックLP12(トーンアームはAKITO)に取り付け

て聴いた。サーフェイスノイズが楽音から浮き出しすぎない、重心の低い真つ当なエネルギーバランス、音楽の「熱と力」の表現を得意とする彫琢に優れた音というのが第一印象。彫りの深い暖色系の音調がたいへん好ましい。フリードリヒ・グルダが弾く『ベートーヴェン…ピアノ協奏曲第5番(70年の粒立ちのよいピアノの明晰なタッチ、ふつくと柔らかく質量感の確かなコントラバスのピチカートなど実に聴き応えがある。また、艶とあたたかみを实感させるヴォーカルの再現性がことのほかすばらしく、ボズ・スキヤッグスの新作『メンフィス』の重量盤LPで聴ける大人の男の色香を感じさせる滑らかな声に陶然となつて聴き入った。リヴァーブの短いノンエフェクト・ドラムズの乾いたひびきの生々しい再現も本機ならではの味わいだらう。ジミ・ヘンドリックスの69〜70年のライヴを収録した『ヘンドリックス・イン・ザ・ウエスト』を爆音再生してみたが、これまた実に安定したライヴ・サウンドが楽しめた。音量を上げるにつれ、荒々しくも洗練されたジミのギターとヴォーカルがふつと浮き上がり、時間と空間を超えて演奏会場にワープしたようなイリュージョンが味わえ、夭折の天才の魅力を満喫した。